

荷の積み込み・積み下ろし作業は危険がいっぱい!

- 運送業における荷役作業災害の防止に向けて -

○運送業の災害が増加!

岐阜県内における労働災害の発生状況ですが、全産業において減少している中で、運送業においては増減を繰り返す状況となっています(右表参照)。原因としては、景気回復や小売販売業の店舗増加等による物流業務の増加などが考えられるところですが、

○荷の積み込み・積み下ろし中の災害が多発

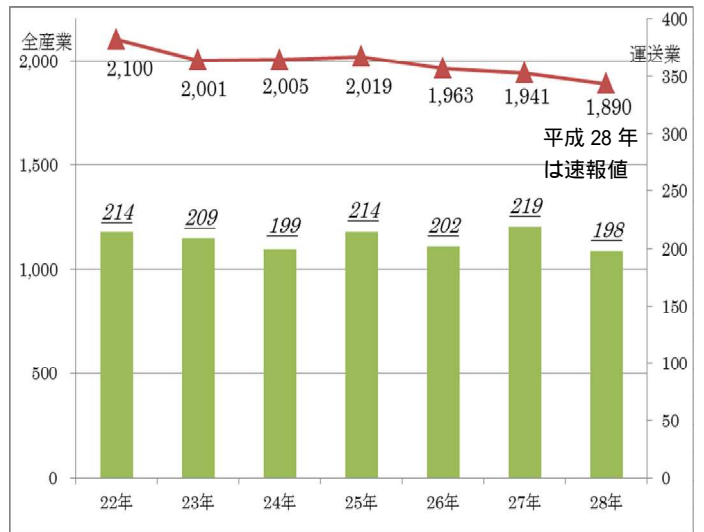
災害の内容を見ると、トラックへの荷の積み込み・積み下ろしなど、荷役作業に起因する災害が多く、死亡災害も多発しています。

また、多くが荷主の事業場で発生しており、災害の防止に向けて、荷主企業の協力を求めることが有効と言えます。

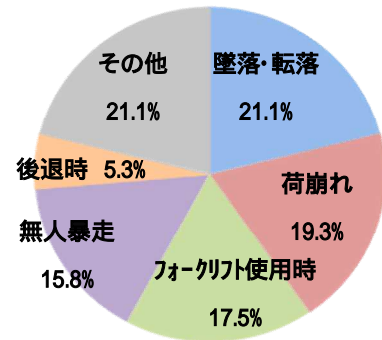
○全従業員参加の自主的な取組が重要

運転者による荷の積み下ろし作業中の災害が多発していますが、そのほとんどが単独作業となっています。したがって、災害を未然に防止するためには、全ての従業員参加の下で、安全作業の遂行に向けた安全衛生教育の実施など、継続的に取り組んでいくことが必要です。

岐阜県における労働災害発生状況 全産業と運送業の比較

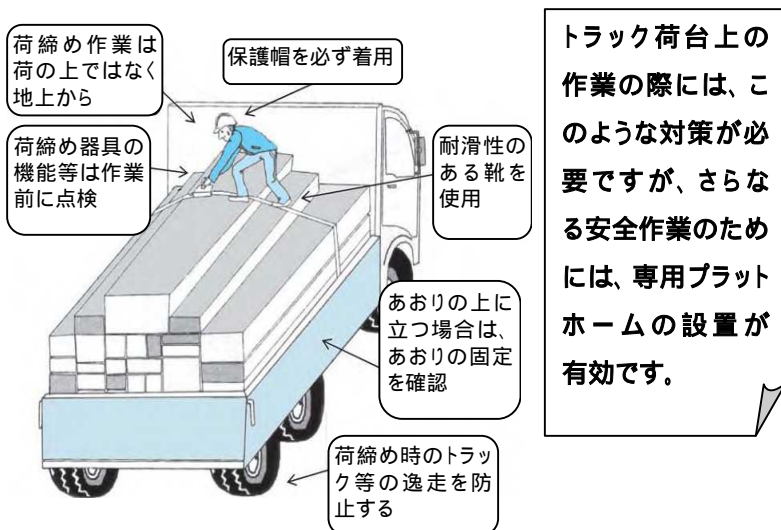


荷役作業時の死亡災害の分類



平成 25 年に発生した陸上貨物運送事業の荷役作業時の死亡災害についての分類結果 (労働安全衛生研究所の調査によるもの)

作業内容に応じた適切な対応を!



トラック荷台上の作業の際には、このような対策が必要ですが、さらなる安全作業のためには、専用プラットフォームの設置が有効です。

ガイドライン等に基づく取組を!

運送業における災害防止については、次のガイドライン等が発出されています。

- 「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」
- 「荷役作業時における墜落防止のための安全設備マニュアル」
- 「運輸業等における荷役作業のリスクアセスメントのすすめ方」
- 「荷主の皆様へ 自社構内での荷役作業の安全確保にご協力ください」
- 「交通労働災害防止のためのガイドライン」
- 「ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル」
- 「重大な労働災害を防ぐためには」

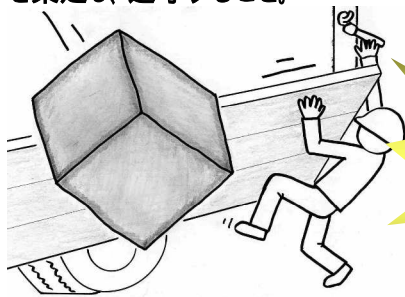
これらのガイドライン等は、厚生労働省 HP からダウンロード出来ます。

荷役作業時における死亡災害事例

災害1「ウイング車のあおりに激突される」

被災者が、運送先で荷下ろし作業を行うため、ウイング車の荷台のウイングの止め金具を外したところ、ウイングにもたれかかっていた積荷(重量 1.5t)が落下し、その衝撃であおりの金具がこわれ、あおりが被災者に激突した。荷は2段積みで、荷台への固定はされておらず、運送中に荷崩れし、傾いたものと考えられる。

ポイント...重量物であっても長距離走行等によって、荷崩れることがあり、荷台への荷の確実な固定が必要。荷主の協力の下、荷の積み下ろしのための設備改善も有効である。荷の積み下ろし作業の安全作業標準を策定し、遵守すること。



トラックの荷の積み下ろし作業は、荷主の協力が有効な手段！

災害2「転倒したフォークリフトの下敷きに」



フォークリフトによる災害は多種多様

トラックに積まれたフレコンバック(重量 1.1t)の荷下ろし作業中、フレコンが建物にもたれかかってしまった。被災者がこれを直そうとフォークリフトの片方のフォークにフレコンの吊り具をかけてつり上げたところ、フォークリフトが転倒し下敷きになった。

なお、地面は約7度の勾配があった。

ポイント...フォークリフト作業では、「荷の落下」「マストやヘッドガード」などへのはさまれ、「フォーク上からの墜落」「後退時の接触」等、様々な災害が発生している。特にトラブル時の対応は、十分な安全対策を検討すること。

その他にも、岐阜県内において、様々な災害が発生しています。

作業内容	災害発生状況	ポイント等
トによる作業 フォークリフト	被災者が、一人でフォークリフトを使用してトラックの荷台から自動車部品を台車(約 390 kg)ごと降ろす作業を行っていたところ、隣にあった台車が何らかの原因で地上に落下し、被災者がその台車の下敷きになった。台車は車輪付きで、容易に動かすことが出来るものであった。	トラック荷台の荷の状態・形状をよく把握して作業を行うことが必要です。
台車積み込み トラックへの作業	営業終了後の店舗の倉庫内で、トラック運転者が一人で総重量 400 kgの商品を載せた「かご台車」を、トラックのリフター(勾配7度)に積み込む作業を行っていたところ、かご台車がトラック運転者の上に倒れ、その下敷きとなった。	かご台車の上部まで荷を積み込むと、重心が高くなり危険です。
倉庫からの荷下ろし作業	被災者が、トラックのタイヤの交換を行うために車庫兼倉庫の2階に上がってタイヤを探していたところ、厚さ9mmの合板4枚で覆われた荷卸口から合板とともに1階に墜落した。荷卸口には手すりが設けられておらず、合板も薄く老朽化していた。	通常、人が出入りしない2階倉庫は、不備な状態が多く、要チェックです。
重機の積み下ろし作業	被災者は一人でトレーラーからドラグショベルを地上に降ろす作業を行っていた。しばらくして、大きな音を聞きつけた土地の所有者らが、ドラグショベルの下敷きになっている被災者を発見した。ドラグショベルを下ろす際に、敷板等を使用されていなかった。ショベルのバケットを支えにして、降ろそうとしたと考えられる。	正しい方法を用いないと、大きな危険が発生する場合があります。